

『 仲間と、いつでも、ピア・サポート 』

藤枝市立瀬戸谷学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・一年生を迎える会 ・学校説明会 ・教科係会 ・歌おう委員会による『校歌指導会』 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割りの仲を深める。 ・ピア・サポートの視点から学校生活におけるルールやマナーについて考える。 ・上級生が1年生に教科系の役割や仕事について指導する。 ・上級生が1年生に校歌指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピア・サポートの考え方を全職員で共通理解をする。 ・生徒の活動について掲示や学級通信で発信する。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・せとやっこ総合ガイダンス ・生徒会による『あいさつ運動』 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割りで総合学習を行う。 ・中学生が小学校へ行き、あいさつを通した温かな関係づくりを行う。 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同学活 ・小中合同学校保健委員会 ・小中合同避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年齢集団(小5～中3)でグループを作り、せとやっ子体育祭の目標づくりを行う。 ・異年齢集団(小5～中3)で救急法や避難所開設方法について学ぶ。 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸谷の未来を考える会(70周年記念行事) 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割りで瀬戸谷の未来について話合う。 	
8月			
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係づくりプログラム(各学級) ・体育祭に向けた結団式 ・生徒会による『あいさつ運動』 	<ul style="list-style-type: none"> ・温かな人間関係づくりのために必要なスキルを学ぶ。 ・団長を中心に、団(小1～中3)の団結力を強める。 ・中学生が小学校へ行き、あいさつを通した温かな関係づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピア・サポート研修会の伝達講習 ・生徒の活動について掲示や学級通信で発信する。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・燃えろ！せとやっ子体育祭 	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢集団(小1～中3)で体育祭を行う。 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・せとやまるかじり(地域産業祭)への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・せとやっこ総合の学習活動の成果を地域に発表する。 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同学校保健委員会 ・ピア・サポートスキルトレーニング(各学級) 	<ul style="list-style-type: none"> ・温かな人間関係づくりのために必要なスキルを学ぶ。 ・異年齢集団(小5～中3)でレジリエンスについて学ぶ。 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生が工夫し、新入生に部活動や学校生活等を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活動について掲示や学級通信で発信する。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・専門委員会でのふり返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会の活動をピア・サポートの観点から振り返る。 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・三年生を送る会 	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年生が協力し合い、3年生に感謝の気持ちを表す。 	

1 本校のピア・サポート

瀬戸谷地区では、小中一貫学校教育目標として、「自立 共生 成長実感」を掲げている。この目標を達成するために、今年度は「思いやりの心と主体性を育む集団活動の推進」に取り組んできた。ピア・サポートを意識して生活する生徒が約90%の本校の温かな風土を生かし、一段階レベルを上げた思いやりの心で、自分も相手も大切にできる自立した生徒の育成を目指した。

また、H27年度生徒会が、瀬戸谷中学校オリジナルのピア・サポートキャラクター「瀬ピア」を作り上げた。今年度は瀬戸谷中学校70周年を記念して小中を行き来に使用するバスにも掲示され、瀬戸谷のピア・サポートの象徴になっている。

2 本年度の取組

(1) 授業において・・・「せとやっこ総合」に関わる諸活動<提言1・4・8>

本校では、3学年の縦割り集団を2つの隊（和太鼓の演奏を行う「和太鼓実演隊」、農業を通じて瀬戸谷の魅力を発信する「ふれあい隊」）に分け、「せとやっこ総合」と称した総合的な学習をおこなっている。今年度は、生徒が『アニバーサリー70 ～70周年を迎えた瀬戸谷中と地域の良さを見つけよう～』という目標を設定し、「せとやっこ総合」の学習を通して、瀬戸谷中と瀬戸谷の新たな魅力を見つけつつ、その魅力を地域や地域外の人にも伝えようと活動してきた。

当日には、和太鼓実演隊が会場内の子どもたちに優しく太鼓を教える様子や、ふれあい隊が農業体験を通して学んだことを地域の人に発表する様子が見られた。ボランティアとして出店の手伝いや赤い羽根募金に積極的に参加する生徒が多く、普段から培っているピア・サポートの力を十分に発揮できた。

(2) 特徴的な活動・・・燃えろ！せとやっ子体育祭<提言1・6>

小学校と中学校が合同で行う「燃えろ！せとやっ子体育祭」は今年で14回目を迎えた。毎年、中学3年生や生徒会を中心に、企画・運営を行っており、中学生が腰をかがめ、わかりやすい言葉を使いながら小学生と話す姿や、小学生が中学生の姿を見て、力一杯応援や競技に取り組む姿などが見られる。小規模校の特徴を生かした伝統的な行事は学年を超えた温かなつながりを生み出している。

今年度も生徒の主体性を生かしながら、校種を超えた温かなつながりを育める場にしたと考え「セピア賞」の表彰を行った。団の中でも特に、仲間と協力する姿や高め合おうとする姿が見られた児童生徒に贈られる賞で、子どもたちが受賞者を決めている。この賞があることで、生徒の中で、練習中からピア・サポートを意識して行動する動きや、仲間と温かな関わりをしている人を小学生の中からも探そうとする動きが見られた。体育祭を通して、温かな関係性だけでなく、互いに高め合ったり、認め合ったりするような関わりを生み出すことができた。

3 本年度の成果と来年度に向けて

今年度も、継続して縦割り活動や地域との交流を計画的に実施したことで、生徒は幅広い年代の相手に対して温かな関わりができるようになってきている。12月に実施した学校評価アンケートでは「ピア・サポートを意識して生活している」と答えた生徒が約90%おり、思いやりあふれる生徒が育ってきていることがわかった。しかし、反面「私には良いところがあると思う」と答えた生徒は65%にとどまっており、ピア・サポートを自己肯定感や自己有用感に更につなげていく必要があると感じた。来年度は、生徒の組織を更に生かし、そこに適切なタイミングでの教師の価値づけを行っていくことで、ピア・サポートの力を十分に生かせるようにしたい。